

防災研修センターの官民連携事業

名護市消防本部 総務課

名護市防災研修センター

- ・自助、共助、公助や日頃の備えの大切さを体験型の学習を通して学び、広く住民地域に対し、防災意識の高揚を図り、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進することを目的に整備されました。
- ・利用者数においてはコロナ期間中を省き、近年の災害発生から住民の防災意識の向上や、本施設のメディア出演から、年々増加傾向にあります。利用者については市内、市外のみならず県外からの利用申込者もいる状況です。
- ・利用者からは、防災研修センターの体験を通して「自助、共助、公助」の大切さや災害時の身を守る行動を学べると、大変満足いただいているサービスです。

名護市防災研修センターの課題

- ・建設当初の設備導入企業が県外にあり故障に伴う予算化・修繕に時間を要しており、研修者に不便をかけることがある。
- ・利用者のニーズにあわせた各ブースの機能向上及び改善ができていない。（開所当初から防災シアターの映像が変更できていない。など）

テーマの概要

- ・本市では、防災意識の向上と災害対応力の強化を目的として「防災研修センター」を運営しており、来館者は災害の疑似体験を通じて、災害の恐ろしさや対応方法を学ぶことができます。
- ・施設の経年劣化により修繕が必要となる箇所が増加しており、その費用負担が課題となっています。現状の運営予算だけでは十分な対応が難しく、持続可能な研修環境を確保するために官民連携による運営費の確保を目指したいと考えております。

希望する提案

- ・施設を維持管理できる提案

例として

- ・各コーナーを広告スペースとして活用（参考事例：横浜市民防災センター）

地震体験コーナー：ハウスメーカー、建設会社、防災グッズ販売会社

車両水没コーナー：自動車メーカー、自動車整備事業者、防災グッズ販売会社

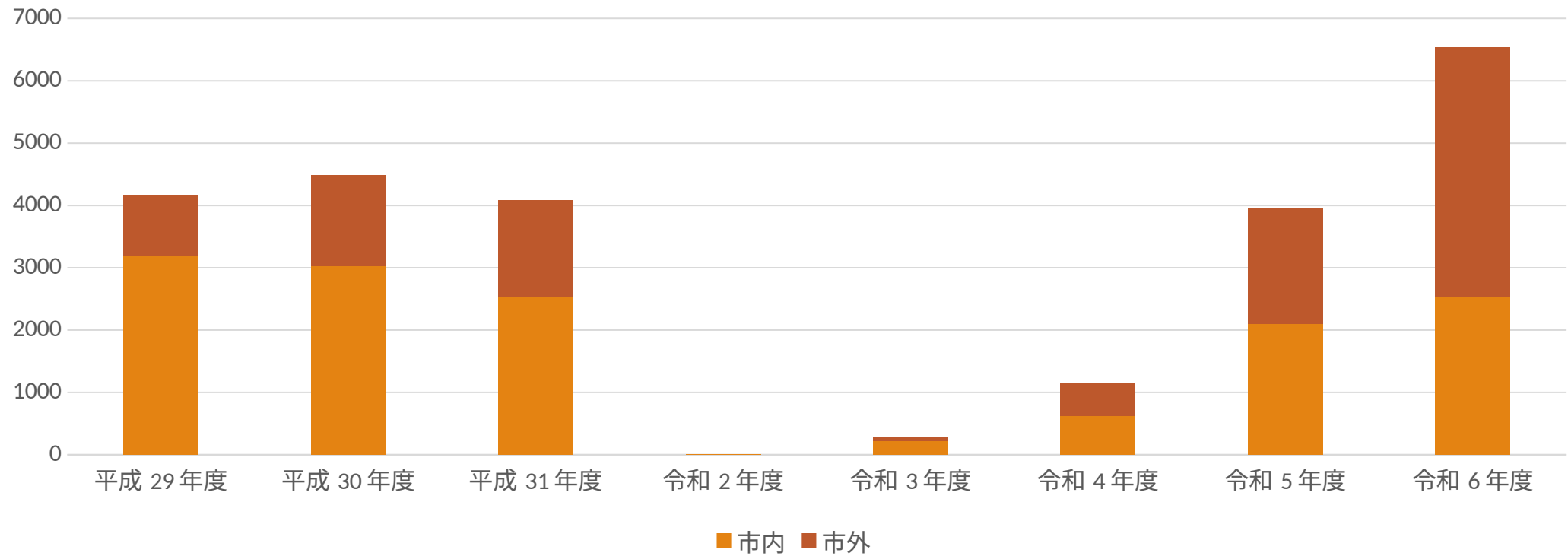
シアタールーム：映像制作会社、企業のコマーシャル

など、その他提案を募集したい。

- ・ネーミングライツ（埼玉県防災学習センター）

參考資料

利用者数推移



利用者数内訳

	未就学	小学生	免除 (身障者等)	中学生	免除 (身障者等)	一般	免除 (身障者等)	市内	未就学	小学生	免除 (身障者等)	中学生	免除 (身障者等)	一般	免除 (身障者等)	市外	合計
平成29年度	1163	713	107	15	171	610	539	3318	70	213	33	5	3	589	75	988	4306
平成30年度	948	776		203	0	1106		3033	89	271		19		1078		1457	4490
平成31年度	984	601	29	163	0	741	23	2541	9	516	1	44	2	955	24	1551	4092
令和 2 年度						10		10							0	0	10
令和 3 年度	51	39	12	5	9	23	79	218	0	32	0	1	0	33	0	66	284
令和 4 年度	35	176	106	2	4	183	113	619	11	83	14	8	11	332	68	527	1146
令和 5 年度	413	593	353	8	17	467	243	2094	85	399	21	17	12	1275	59	1868	3962
令和 6 年度	786	135	927	10	39	249	390	2536	310	828	421	101	61	1828	443	3992	6528
	3594	2898	607	396	201	3140	997	11,833	264	1514	69	94	28	4262	226	9,433	23,267

防災研修センター 全体図

地震体験コーナー

⇒発災後の避難時に必要な備えなどを学ぶコーナー

模擬消火体験コーナー

⇒家庭用消火器による初期消火を体験できるコーナー

煙避難体験コーナー

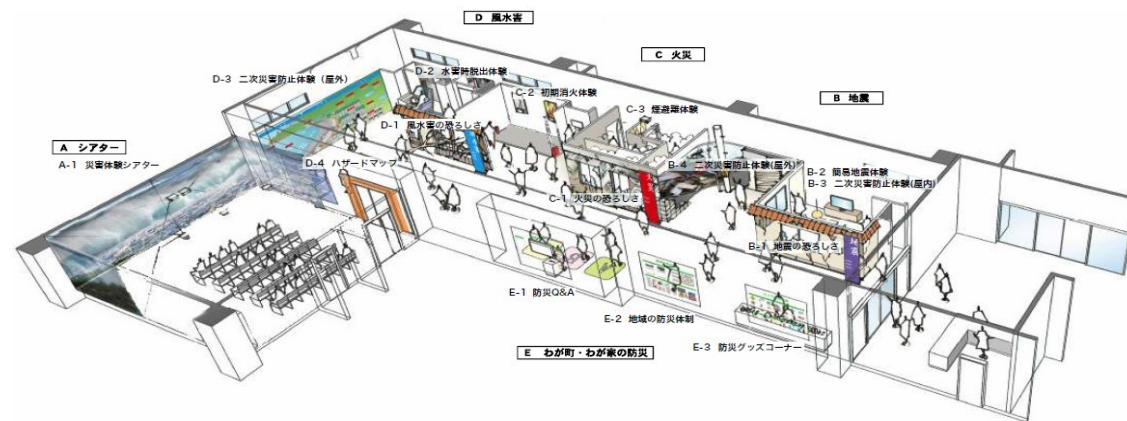
⇒煙から身を守り避難する方法を学ぶコーナー

水災害脱出体験コーナー

⇒車両水没や住宅冠水を想定した体験コーナー

防災シアター

⇒災害の恐ろしさを映像を通して学ぶコーナー



地震体験コーナー

●展示の内容

夕食の支度中の家庭を突然襲う震度5の地震！とるべき行動は！

▶ 学習ポイント

- ・突然起きる地震の恐ろしさを感じる。
- ・速報から地震までの時間差を知る。
- ・まず自分の身を守ることが重要であることを知る。

▶ 運用方式

アテンド運用

▶ 体験内容

体験者を定位置に座らせ、アテンドがスタートスイッチを押します。
緊急地震速報システムが作動し、テレビの画面が地震速報に切り替わります。
しばらくして様々な地震演出が始まります。

〔地震演出装置 全7箇所〕

- ①緊急地震速報システムの警報
- ②テレビの地震速報
- ③地鳴り音
- ④テーブルの振動
- ⑤窓ガラスの振動
- ⑥ペンダント照明の点滅
- ⑦ペンダント照明の揺れ

▶ 運用フロー

1. イスに誘導
- ↓
2. 地震演出スタート（スイッチオン）
- ↓
3. 地震演出開始
- ↓
4. 机の下へ誘導
- ↓
5. 「身の安全の守り方」を解説



消火体験コーナー

●展示の内容

台所で火災発生！住宅用消火器を使ってすばやく火の始末！

▶ 学習ポイント

- ・ 消火器の種類（ABC消火器と強化液消火器）を知る。
- ・ 消火器の使い方を知る。
- ・ 天ぷら油、炭火火災時の初期消火のポイントを知る。

▶ 運用方式

フリー運用

▶ 体験内容

「解説」と「体験」の2つのスイッチがあります。

「解説」を押すと、消火器の使い方と初期消火体験での体験方法を映像で解説します。
「体験」は初期消火のシミュレーションです。制限時間内に画面内の天ぷら油、炭火火災を消火してもらいます。ホースの当てている位置を赤外線センサーで感知し、初期消火の成功・失敗を判定します。

〔消火体験装置〕

スイッチ卓、コントローラー、PC、赤外線感知モニター、
充電式センサー消火器各2台

×2セット

▶ 運用フロー

1. 「解説」スイッチを押す
- ↓
2. 消火器の使い方と初期消火のポイントの映像解説
- ↓
3. 「体験」スイッチを押す
- ↓
4. 初期消火体験
- ↓
5. 消火の判定とその理由の映像解説



水災害脱出体験コーナー

●展示の内容

ゲリラ豪雨発生！水没した家屋や車から脱出！

▶ 学習ポイント

- ・水害時の避難の困難さを知る。
- ・水の力の強さを体感する。

▶ 運用方式

フリー運用

▶ 体験内容

屋内のドアでの脱出と車のドアでの脱出の2つの体験ブースを配置します。

水の深さを選択し、その水深でのドア開閉の重さを体験してもらいます。

〔圧力装置〕

スイッチ卓、コントローラー、行灯、ドア圧力装置、音響装置 ×2セット

▶ 運用フロー

1. 水深選択（3段階）



2. 行灯点灯及び効果音



3. ドア開体験



防災シアター

●展示の内容

災害は圧倒的で恐ろしい！

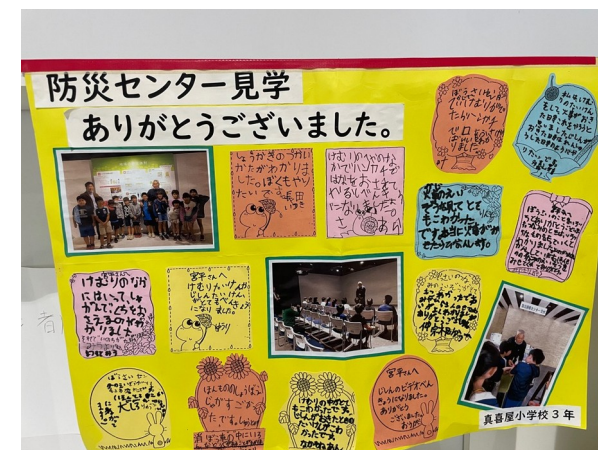
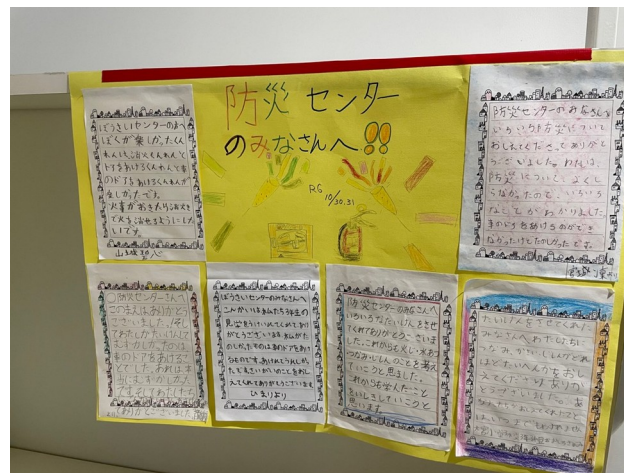
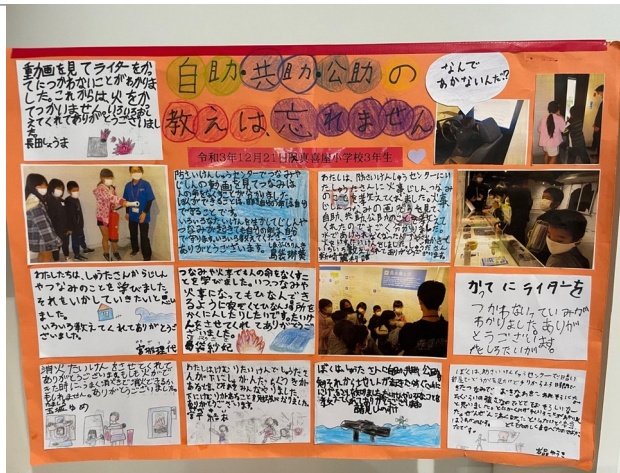
- ▶ 映像の目的
身近に発生しうる災害の恐ろしさと危険性を体感してもらい、防災の必要性を訴求する。
- ▶ 災害項目
地震、津波、火災、風水害
- ▶ 対象
小学校4～6年生及び一般
- ▶ 時間
14分半
- ▶ ハード構成
 - ・正面及び左右壁面スクリーンによる3面マルチ
 - ・プロジェクター4台を使用した専用シアター
(講座など多目的な利用として、別途プロジェクターを1台配置)



受付エントランス



喜びの声



参考事例

横浜市の 活用事例

・横浜市民防災センター

広告募集のご案内 [寄付・広告](#)
[.pdf](#)

横浜市民防災センターHPより資料抜粋

広告募集内容一覧

- 1 待合スペースでの展示
- 2 デジタルサイネージでの広告上映
- 3 エントランス左側での展示
- 4 エントランス右側での展示
- 5 案内チラシの配架 **New**
- 6 災害シアターでの広告上映



次のページへ

事例

1 待合スペースでの展示

待合スペースに配置された展示ブース内を自由にレイアウトして広報物や商品の展示及びパネルの掲示ができます。広告メニューの中で最もスペースが広く大変ご好評いただいております。



広告展示スペース

それぞれの企業様の個性があり、お持ち帰りいただけるサンプルを置いている企業様もおられます。

※納品について
展示開始の前日までに
横浜市民防災センターに
ご郵送又はご持参ください。



媒体概要	
料金（1枠）	12,000円/月・税込み
展示期間	3か月～（毎月1日更新）※休館日の場合は翌営業日
規格（サイズ）	次ページの「仕様及び条件」をご確認ください。
募集枠数	10枠（複数枠の契約可）

2 デジタルサイネージでの広告上映

エントランス横及び待合室の両方で広告を上映します。入館してすぐ目に留まる広告となります。



広告上映スペース



媒体概要	
料金（1枠）	5,000円/月・税込み ※月単位で数か月の期間契約も可能です。
表示期間	1か月（毎月1日更新）※休館日の場合は翌営業日
表示回数（最低保障）	1枠30秒 45回/日 1,170回/月 ※26日/月で計算
規格（サイズ）	表示サイズ：エントランス55インチ 待合室前32インチ アスペクト比：16:9 ファイル形式：MPEG-2、MP4、WMV ファイルサイズ：1GB以下/枠 ※動画内に「広告」であることを明記してください。 ※静止画も可能 ※別添「災害シアター映像形式仕様」を参照ください。 ※広告映像の他に横浜市の広報映像も上映します。
募集枠数	14枠（複数枠の購入可）

3 エントランス左側での展示

エントランス横の展示スペースに広報物や商品を展示できます。来館者の皆様が通過する場所にあるため効果的な広報が可能です。

※展示品は防災に関する製品のみとなります。



※納品について
展示開始の前日までに
横浜市民防災センターに
ご郵送又はご持参ください。

受付エントランス

媒体概要	
料金（1枠）	5,000円/月・税込み ※月単位で数か月の期間契約も可能です。
展示期間	1か月（毎月1日更新）※休館日の場合は翌営業日
規格（サイズ）	展示スペース 30cm（高さ）×40cm（横）×35cm（奥行） ※上下枠のみ連結可能
展示物の重さ	5 kg程度
募集枠数	8枠（複数枠の購入可）



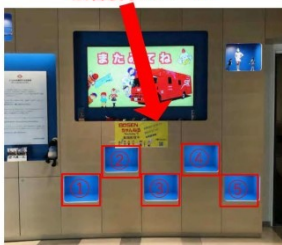
4 エントランス右側での展示

エントランス横の展示スペースに広報物や商品を展示できます。来場者の皆様が通過する場所にあるため効果的な広報が可能です。

※展示品は防災に関する製品のみとなります。



広告展示スペース



※納品について
展示開始の前日までに
横浜市民防災センターに
ご郵送又はご持参ください。

媒体概要	
料金（1枠）	5,000円/月・税込み ※月単位で数か月の期間契約も可能です。
展示期間	1か月（毎月1日更新）※休館日の場合は翌営業日
規格（サイズ）	展示スペース 30cm（高さ）×40cm（横）×35cm（奥行） 展示物の重さ：5kg程度
募集枠数	5枠（複数枠の購入可）

5 案内チラシの配架 New

令和6年度に新設した「マンション防災考えるーム」エリアに案内チラシラックを設置いたしました。広報チラシを効果的に配布可能です。



※納品について
展示開始の前日までに
横浜市民防災センターに
ご郵送又はご持参ください。



マンション防災考えるーム



広告展示スペース



6 災害シアターでの広告展示

災害シアターとは「体験ツアー」のなかで横浜に起こりうる災害を臨場感あふれる映像で身近に体験できる施設です。



媒体概要	
料金（1枠）	8,000円/月・税込み ※月単位で数か月の期間契約も可能です。
表示期間	1か月（毎月1日更新）※休館日の場合は翌営業日
表示回数（最低保障）	1枠30秒 6回/日 156回/月 ※26日/月で計算
規格（サイズ）	表示サイズ：約280cm（縦）×約498cm（横） アスペクト比：16:9 ファイル形式：MPEG-2、MP4、WMV ファイルサイズ：1GB以下/枠 ※動画内に「広告」であることを明記してください。 ※静止画も可能 ※別添「災害シアター映像形式仕様」を参照ください。 ※広告映像の他に横浜市の広報映像も上映します。
募集枠数	14枠（複数枠の購入可）

ネーミングライツ事例

・埼玉県防災学習センター

朝日新聞記事抜粋

朝日新聞 > 記事

県防災学習センターの命名権スポンサー募集 「そな一え」一部に

黒田壮吉 2024年8月15日 10時45分



[list](#) 0



埼玉県

埼玉県は、県防災学習センター（鴻巣市）に愛称をつけられる「ネーミングライツ（命名権）」のスポンサーを募集している。新たな自主財源を確保して維持管理に充てるのが狙いで、県有施設での命名権募集は初めて。応募は8月16日まで。

センターは1994年に開設された。地震の揺れや暴風を疑似体験できるなど、災害時の対処方法を楽しく学習できる施設。年間約5万人が訪れるという。

契約は2026年3月末までで、年額での希望金額は50万円以上とした。以前、住民公募で決まった愛称「そな一え」を一部に入れることなどが条件となっている。

収益はセンターの維持管理費などに充てる。スポンサーにとっては公共施設に企業名や商品名を表示させることで、幅広いPR効果が期待できる。今後、県は別の県有施設でも命名権を公募する方針

という。問い合わせは県危機管理課（048・830・8136）。

[PR]